

研究区分	学部研究推進
------	--------

研究テーマ	グローバルな薬学研究・教育基盤の発展的構築				
研究組織	代表者	所属・職名	薬学部・教授	氏名	竹内 英之
	研究分担者	所属・職名	薬学部・教授	氏名	賀川 義之
		所属・職名	薬学部・教授	氏名	伊藤 邦彦
		所属・職名	薬学部・教授	氏名	内田 信也
		所属・職名	薬学部・教授	氏名	尾上 誠良
		所属・職名	薬学部・教授	氏名	近藤 啓
		所属・職名	薬学部・教授	氏名	浅井 章良
		所属・職名	薬学部・教授	氏名	石川 智久
		所属・職名	薬学部・教授	氏名	森本 達也
		所属・職名	薬学部・教授	氏名	黒川 洵子
		所属・職名	薬学部・教授	氏名	轟木 堅一郎
		所属・職名	薬学部・教授	氏名	原 雄二
	所属・職名	薬学部・准教授	氏名	ホーク・フィリップ	
発表者	所属・職名	薬学部・教授	氏名	竹内 英之	

講演題目	グローバルな薬学研究・教育基盤の発展的構築
研究の目的、成果及び今後の展望	<p>世界的に見て現代の人類は、エネルギー、環境、飢餓、貧困などの諸問題に加え、COVID-19 に代表される新興・再興感染症などの健康に関わる様々な問題に直面している。本邦では、超高齢社会、地方過疎化、介護の問題が懸案事項となっている。このような状況下において、病気の予防、薬物、薬物治療法の開発、そして、健康増進、健康寿命の延長が求められている。したがって、これらの諸問題に対応できる薬学への社会的期待は大きい。静岡県立大学薬学部には、生物学や化学などの基礎的な学問研究に裏打ちされた創薬、製剤設計、動態解析、並びに、臨床評価を専門とする世界レベルの教員が集まり、静岡女子薬学校開学からの 100 年を超える伝統をもとに、これまでに“グローバル”に世界と地域の薬学の発展を牽引してきた。本研究では、本学部が有する生物学・薬理学・分析化学をはじめとする基礎学問研究、製剤設計や動態解析などのより臨床に近い創薬・創剤研究、そして、より実践的な臨床薬剤学研究の英知を糾合し、グローバルかつ分野横断的な薬学研究・教育拠点の発展的構築を目指す。生命科学的手法として、糖鎖科学からの視点を組み込む。文部科学省主導の大型研究計画「ヒューマングライコームプロジェクト」が開始したところであり、世界的にも糖鎖科学は現在、注目されている分野であり、時機を得たものである。本研究により、健康長寿社会の実現に向けて、認知症、がん、メタボリック症候群などの慢性疾患、サルコペニア・フレイルなどに対し、革新的、かつ多面的な生命科学のアプローチで病気の本態を解明し、薬理学、創薬・創剤学との協働による医薬品シーズの創出、そして、臨床応用への発展の礎となる重要な知見を得た。また、国際的に活躍する薬学人材を輩出するために、科学・臨床英語コミュニケーション能力の向上を目指した教育環境の整備も行った。本研究の成果は、静岡県民、そして、世界の人々の健康増進、健康寿命の延長へと繋がることを期待される。</p>